



© sayaka

野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



カワセミ母さん エビをゲットして得意顔 (小城公園/撮影：秀島 泉さん)

野鳥さが228号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 2019年度愛鳥モデル校普及事業報告 -----4ページ
- ようこそ佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報-----5ページ
- 有明海の満潮時刻-----5ページ
- 各地の観察会報告-----6ページ
- 皆さんからのおたより-----9ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報 -----10ページ
- 近隣地区の観察会情報、観察会などのお知らせ (2020年4月～5月) -----12ページ



役員会報告

(事務局: 島田洋)

【日 時】2020年2月23日 & 3月8日 & 3月29日

【出席者】2/23: 11名 3/8: 11名 3/29: 12名

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) 新型コロナウイルス肺炎の影響について

- ① 3月の観察会は中止しました。
- ② 日本国内及び世界各地で流行しており、今後どうなるか全く見通せない状況。
- ③ 4月の行事は中止、5月以降については感染症の状況を見て判断する。

(2) ドローンによる除草剤散布について

- ① 佐賀県は山林の下草刈りの効率化を目的にドローンによる除草剤散布を考えている。
- ② 1月31日に林業課が実証実験の説明会を行った。 反対意見が多数出た。
- ③ 日本野鳥の会佐賀県支部は除草剤散布には反対である。「佐賀野鳥の会」や他の自然保護団体とも連携して「自然環境保全を求める署名活動」を展開していく。

※署名用紙を3ページに掲載しています。コピーをして使用してください。 皆様のご協力をお願いします。 本件は支部ホームページにも掲載しています。

(3) コアジサシ営巣地について

- ① サントリー世界愛鳥基金より佐賀県支部へ助成金があり、営巣地造成に役立てたい。
- ② 10月に完成予定の東よか干潟拠点施設周辺に造成する予定。
- ③ コアジサシあるいはシロチドリなどが営巣してくれるのを期待する。

(4) 九州・沖縄ブロック大会について

- ① 4月11～12日に開催予定だったブロック大会は延期となった。
いつ開催になるのか未定。中止もありうる。
- ② 大会冊子は作成し、参加予定者等に配布されるとの事。

(5) 愛鳥モデル校について

2019年度は東山代小学校、加唐小中学校で愛鳥普及事業を行った。

※4ページに普及部長の馬場清さんの報告を掲載しています。

(6) 支部総会について

- ① 5月31日午前10時より本庄公民館で佐賀県支部総会を開催する予定である。
- ② 支部総会資料について明快で的確な表現になるよう多くのアドバイスがあった。
- ③ 探鳥会の開催地や支部役員人事についてもいろいろ提案があった。

(7) その他、今後の観察会等について協議した。



佐賀県知事 山口祥義 様

「ドローンによる山林への除草剤散布を中止し、自然環境の保全を求める」署名簿
請願趣旨及び理由

佐賀県は山林の下草刈りによる労働の軽減を目的として、ドローンを使った除草剤散布の実証実験を現在実施しています。

大量の除草剤が空中より散布されれば、自然環境へ多くの被害（除草剤の安全性と信頼性が確立していないため）をもたらすものと予測されます。

除草剤散布が続けられれば、下記のような影響が想定出来ます。

- 一. 雑草一括りに含まれる、希少植物（絶滅危惧種）の保全がなされず、植生の多様性も失われる。
- 二. 薬剤による地中生態系が破壊、及び土壌の汚染。
- 三. 薬剤の川への流れ出しによる水の汚染、さらに危惧される地下水の汚染。
- 四. 水系汚染による、藻類・水生植物・水生昆虫・魚類・小動物・鳥類等の生態系への直接・間接の影響。
- 五. 人への健康被害。

請願事項

上記のような悪影響が想定できる本件を看過することはできません。

実証実験と本件実施の中止を要請します。

山・里・川・海は繋がっています。被害が出てからでは取り返しはつきません。

賢明な判断をお願いします。

実施団体

日本野鳥の会佐賀県支部	支部長	宮原明幸
佐賀野鳥の会	会長	角 紀男

氏 名	住 所	印

※ 記入されました署名用紙は、下記住所へお送りください。

〒840-0008 佐賀県佐賀市巨勢町牛島 298-18 日本野鳥の会佐賀県支部





2019年度愛鳥モデル校普及事業報告

(報告:馬場清)

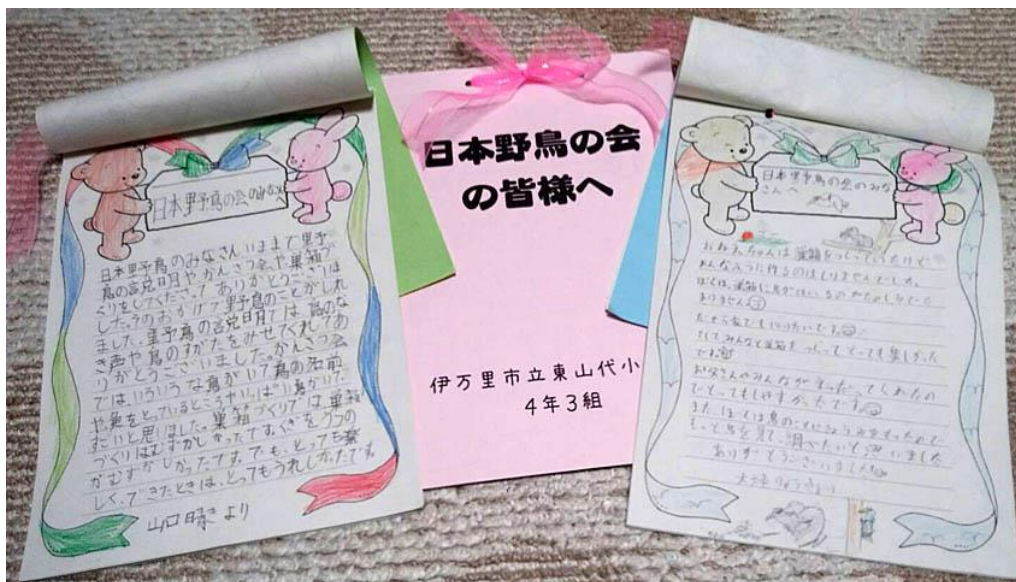
2019年度の愛鳥普及事業(モデル校の指導)が下記の通り終了しました。

(1) 探鳥会又は愛鳥学習会の開催

愛鳥モデル校名	実施年月日	参加者	内 容	備 考
伊万里市立東山代小学校	01/11/21	小4 85名	・野鳥学習会(指導員4名)	先生5名
〃	01/12/05	〃	・野鳥観察会(指導者6名)	〃
唐津市立加唐小・中学校	01/10/11 午前	生徒5名	・野鳥学習会(指導員2名)	先生3名
〃	01/10/11 午後	〃	・野鳥(カラスバト等)観察会 (指導者2名)	先生5名
〃	01/12/13 午前	〃	・野鳥学習会(指導者3名)	先生3名
〃	01/12/13 午後	〃	・野鳥(ハチクマ等)観察会 (指導者3名)	先生5名

(2) 巣箱等の設置・指導

愛鳥モデル校名	実施年月日	参加者	内 容	備 考
伊万里市立東山代小学校	02/01/31	小4 85名+ 保護者 15 名	巣箱づくり(指導者6名)	先生6名
唐津市立加唐小・中学校 (今回は予定が無かった)				



東山代小学校児童から届いたお礼状

ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

副支部長 青柳 良子

支部報 227 号でお知らせした以降の入会者情報を お知らせいたします。

3 月入会者 4 名（うち 1 名は家族会員）

4 月入会者 2 名

佐賀県支部の会員は現在 241 名です。

野鳥の会会員の皆様！

みなさまの周りに 花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしやいませんか？ 観察会などにお誘いしてみてください。野鳥の会は「いつでも入会 OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。



有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5m 前後、午前 9 時頃からお昼頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

	時刻	潮高 (m)		時刻	潮高 (m)
4月7日	8:52	5.6	5月5日	7:28	5.3
4月8日	9:33	5.7	5月6日	8:14	5.5
4月9日	10:10	5.7	5月7日	8:57	5.6
4月10日	10:43	5.6	5月8日	9:37	5.6
4月11日	11:13	5.4	5月9日	10:13	5.5
4月12日	11:40	5.1	5月10日	10:47	5.3
4月21日	8:25	5.0	5月21日	8:10	5.1
4月22日	8:53	5.1	5月22日	8:44	5.2
4月23日	9:22	5.2	5月23日	9:18	5.2
4月24日	9:49	5.2	5月24日	9:50	5.2
4月25日	10:16	5.2	5月25日	10:22	5.1
4月26日	10:41	5.1	5月26日	10:53	5.0

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の 2 時間前くらいがベスト！

■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の 1 時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。）





各地の観察会報告



■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

①【日 時】 2020年1月26日

【参加者】会員12名 一般参加者3名（案内役：田中丸雅雄、加藤芳隆、大川幸子）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、オナガガモ、コガモ、アオサギ、ダイサギ、ハラサギ、クロツラハラサギ、ダイゼン、ハジロコチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、オオハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ハウロクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、コオバシギ、トウネン、ハマシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、クロハラアジサシ、ミサゴ、カササギ、メジロ（35種）

【参加者のコメント】

前日の天気予報では雨の降る確率50%以上、本来中止の観察会です。それでも、雨にもめげない15名の熱心な参加があり決行しました。（宮原明幸さん談）

②【日 時】 2020年2月11日

【参加者】会員23名 一般参加者17名（案内役：加藤芳隆、大川幸子）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、オナガガモ、ホシハジロ、ハラサギ、クロツラハラサギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、ソリハシセイタカシギ、オオハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ハウロクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、コオバシギ、トウネン、ハマシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、ハイイロチュウヒ、ヒバリ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ハクセキレイ、アオジ（38種）

【案内役より】

天気も潮も良く40の方が参加されました。ソリハシセイタカシギ2羽の越冬もあり、干潟には100人程のカメラマンも見えていました。（宮原明幸さん談）

■宇宙科学館周辺観察会報告（武雄市）

【日 時】 2020年2月2日

【参加者】会員25名 一般参加者14名（案内役：馬場清）

【観察された野鳥たち】カイツブリ、ヒドリガモ、マガモ、オナガガモ、カルガモ、ヨシガモ、オオバン、カワウ、コゲラ、シジュウカラ、メジロ、ヤマガラ、エナガ、カワラヒワ、アオジ、シロハラ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、ミヤマホオジロ、ツグミ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、コガモ、スズメ、ウグイス、ドバト、ホオジロ、トビ、モズ、ダイサギ、リュウキュウサンショウクイ、ホシハジロ、コブハクチョウ（飼育）、キンクロハジロ、スズガモ、タシギ、キジバト、キセキレイ、ルリビタキ、カワセミ、ハシビロガモ、アオバト（43種）

【案内役より】

8時過ぎに科学館裏の駐車場へ・・・“驚きです”9時集合でしたが、もう先着の方が！野鳥の会のノボリを立て、貸出双眼鏡、受付の準備完了の頃、ポチポチと参加者が見えてきました。数えて見たら35名を超えております。再度の驚きです。十数日前から下見を3回ほどしておりましたが、いつも鳥の姿、影が皆無の状態、本当に開催して良いものかと思いつつこの日が来ました。本日は私が地域の子供たちに環境の大切さ、自然の息吹を感じる活動をしている親子たちも来てもらいました。いよいよ観察会の開始です。科学館周辺の池へ。水位が半分以下で数種類のカモ、カイツブリを観察。水鳥を双眼鏡で、スコープで追いつける。林の方ではコゲラがいた朽ちた巣穴を発見。手が届く高さに皆さんは唖然とされていました。水路の側の遊歩道を山奥の方へ。ここにはカラ類がいました。いつもの”ただ鳥”類のお出ましです。数日前は姿も見ない所でしたが、続々と出るではありませんか？アオバトがすばやい飛翔で林の奥へ。タシギ、カワセミ、ミヤマホオジロの大群と観察できました。危惧していた鳥影も鳴き声も多く、来年も観察場所として確保したいです。



観察会の様子（写真提供：加藤芳隆さん、馬場清さん）

■小城公園観察会報告（小城市）

【日時】 2020年2月23日

【参加者】 会員37名 一般参加者13名（案内役：蒲原留美）

【観察された野鳥たち】 カイツブリ、キジバト、ドバト、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、カワセミ、コゲラ（声）、モズ、ミヤマガラス、カササギ、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ハチジョウツグミ、スズメ、カワラヒワ、シメ、イカル

【案内役より】 (27種類)

晴天。風もなく天気は上々。朝、ざっと公園内を歩き下調べを。キウイタダキとエナガ、シジュウカラの混群とミヤマホオジロに会い、このまま、いてくれよと思いつつ観察会へ。今回は40名の参加者。遠方より参加いただいている方もあり、ありがたい気持ちと皆さんに満足していただけるか、少しの不安の中、観察会をスタートしました。

* 順路 ①北側の池 ②梅の広場 ③寄生木を通過し坂道へ ④坂道を上り石碑裏の

広場 ⑤石碑広場 ⑥中央の池

- ① 池にはカイツブリ、池の小島にゴイサギ、ダイサギ、コサギなど、サギは日向ぼっこ。この池でのいつもの風景です。
- ② 梅広場には今年初めて飛来してきたハチジョウツグミや冬の鳥イカル、ジョウビタキの姿がちらほら。参加者のテンションが上がります。
- ③ ゆっくりと坂道を上り、石碑広場の裏へ。(遠くで声がするが姿は？ むむ。)
- ④ 石碑裏の広場はいつもならシロハラ、アトリ、コゲラなどの姿が見えますが、今回はあまり姿が見えません。(やはり声はすれども姿が見えぬ。混群、どこに行った?)
- ⑤ 広場の方に抜け、皆で少し待っているとヤマガラが姿を見せてくれました。広場ではヤマガラ、エナガ、シジュウカラ、イカルなど単体でちらほら出てきてくれた鳥達をゆっくりと観察しました。(おーい、キクイタダキー、ミヤマホオジロー、想えども姿は見えず。) 鳥を待つ間、会員の皆さんが他の参加者の方々に鳥の説明、観察会についてなどの話をしてくださり、和やかな雰囲気を作っていただきました。
- ⑥ 観察会も終盤。ゆっくりと公園に戻り中央の池の方へ。カワセミの音がします。(チャンス！ 観察会の最後、皆さんに満足していただけるか!)
一瞬、姿を見せたカワセミは中央の池、小島の茂みへ。池の両端に分かれ、皆で待ちます。時折、頭やおしりが見え隠れします。が、茂みの上にはなかなか出てくれず、半身を確認することで確認とし観察会の閉めとなりました。

キクイタダキ、ミヤマホオジロがいてくれなかったのが残念でしたが、そろそろ旅立つ準備をする冬鳥、春を告げるように囀る鳥達を見ることができ、和やかな楽しい観察会となりました。参加いただいた皆様、ありがとうございました。

よろしければまた小城公園にお越しください。

※現在、公園内でカササギが巣を作っています。ヒナが上手く巣立ってくれるといいですね。

※2/16 小島古墳観察会は雨天中止、3月の観察会は新型コロナウイルス対策の影響ですべて中止しました。





皆さんからのおたより



●「ヒヨドリの食事あと」・・・小松 常光さん（唐津市）

ヒヨドリにはブロッコリー、キャベツを丸坊主にされ、色んな葉菜類を食い荒らされています。コブシの花びらも食べられてしまいました。先日はサルが腰を据えて大根を食って行ったようです。いつもは見つけ次第フライパンの底を金棒で叩き鳴らして大声で追い払うのですが、隙を突かれました。ルリタテハが越冬から出てきました。



ヒヨドリ食害のブロッコリー&キャベツと、そんなことお構いなしに陽光桜お花見中のヒヨドリ君



猿の被害に遭った大根



日差しを浴びるルリタテハ

●「この時期の鳥たち 2020 その1」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

一月は佐賀県支部の出水ツアーに参加、その後ガン・カモ・ハクチョウのカウントに参加、噂のあった小城公園のレンジャク類（青柳さんの話では？らしい）を探しに行ったり、伊万里のどこかにいると言うコウノトリの「りく君」を探しに行ったり（見たような気がします）、大和町のオシドリを見たりの佐賀県滞在でした。神栖に帰ったら九州での風邪が再発しインフルエンザの手前でした。

野鳥のほうは例年通りのクロガモ・スズガモ・ビロードキンクロ・ウミアイサなどでした。神栖から二時間ほど行けばオオワシなどが見れるんですが。そうこうしているうちにコウノトリの繁殖時期です。昨年巣落としてしまったペアの翔くんと未来ちゃんは神栖市での繁殖をあきらめたのか、対岸の銚子市の鉄塔で巣作りを始めたため、昨年同様、巣落

とりに遭いました。 結論を言えば神栖市に巣塔を建てて繁殖させるということです。
 今年の繁殖に間に合うかどうかはわかりません？
 写真は交尾の様子と鉄塔を昇ってくる巣落とし作業員を見ているコウノトリ



皆さんからの野鳥&生きもの情報

■秀島 泉さん (多久市)

2月19日&3月6日

【小城公園】カワセミ



■水田 稔さん (神崎市)

3月11日 【神崎市】

カワガラス

3月24日 【神崎市】

メジロ

(エサを運ぶカワガラス) →



■加藤 芳隆さん（上峰町）

2月4日 【みやき町】オオモズ



■八木 ひとみさん（佐賀市）

2月6日 【みやき町】ジョウビタキ、
カシラダカ、オオモズ

2月11日 【長崎市】コグンカンドリ、トビ



ジョウビタキ



カシラダカ



オオモズ

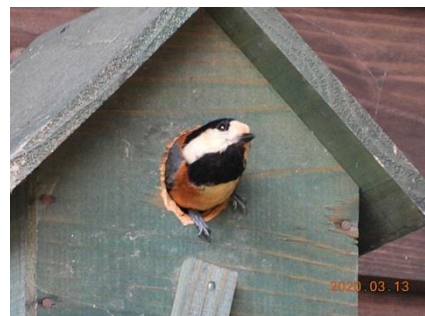


トビとコグンカンドリ

■長岡 保さん（長崎県波佐見町）

3月8日 【小城公園】アオサギ 魚をゲット

3月13日 【波佐見町】ヤマガラ 自宅で巣作り中



● 近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

- 日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)
- 日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

※両支部とも4月の観察会はすべて中止です。

お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>
筑後支部 <http://grosbeak.blog.fc2.com/>

● 観察会などのご案内 (2020年4月~5月)

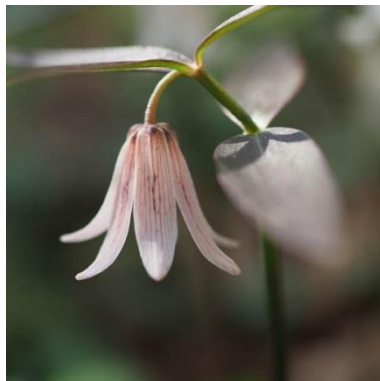
※4月の観察会はすべて中止となりました。5月の観察会は実施する場合は後日案内をいたします。

mini nature gallery

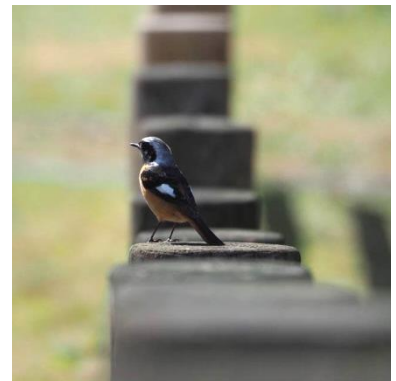
(撮影：馬場順一さん)



白いホトケノザ (みやき町)



ホソバナコバイモ (井原山麓)



ショウビタキ (鳥栖市)

～野鳥さが原稿募集中～

- ①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。
- ②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)
〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649
(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)
事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>